

## 4月上旬まきハウレンソウの品種比較

吉原恵子・海保富士男・木下沙也佳  
(園芸技術科)

---

**【要約】** 4月上旬まきハウレンソウでは、葉色は非常に濃く、葉が厚くて、つやがあり、地上部重の揃いに優れた「MS-1390」、草姿の揃いが良好で、葉色濃く、つやのある「晩抽フォレスト18」が有望である。

---

### 【目的】

都内でのハウレンソウの作付けは多いものの、春まき作型での品種に関するデータは少ない。そこで、4月上旬まきで品種比較を行い、普及上の資料とする。

### 【方法】

「タフスカイ」以下15品種を供試し、2025年4月8日に幅70cm、通路70cm、株間15cm4条の間隔(黒マルチ9415を敷設)で6粒播種した。4月21日に3株に間引きを行い、最終的な栽植密度は10aあたり56,967株とした。肥料は10aあたり成分量でN:14kg, P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:14kg, K<sub>2</sub>O:14kgを全量基肥として施用した。1品種18株×2反復とし、収穫は5月15日に行い、収穫物調査を5月15日、立毛および外観形質の調査を5月16日に行った。

### 【成果の概要】

1. 栽培期間の気温は、4月中は平年を上回り、特に4月中旬で平年よりも高く推移した(データ略)。5月初旬にまとまった降雨があり、急速に生育が進んだ。5月5～6日にかけて収穫期(草丈25cm)に達した品種があり、5月12日には半数以上の品種で収穫期に達した(表1)。
2. 立毛調査の結果、草姿は「ライトアップ、ワイルドホープ、バッハ、晩抽サンホープ」が立性で作業性に優れていた(表1)。最も揃いが良かったのは、「晩抽フォレスト18」であった。葉の特徴として、葉色は「晩抽フォレスト18, MS-1390」が非常に濃く、葉の切れ込みは、「タフスカイ」で最も深かった。株張りは「ライトアップ、ミラージュ」が優れていた。また、「晩抽フォレスト18, MS-1390」は葉につやがあった。以上より、立毛では「ライトアップ、晩抽フォレスト18, MS-1390」が優れていた。
3. 収穫物調査の結果、草丈は「晩抽サマースカイ、イーハセブン、サンホープセブン」、地上部重では「晩抽サマースカイ、サンホープセブン, MS-1390」においてcv値が小さかったことから、株の揃いが良好であった(表2)。地上部重/草丈の値は「タフスカイ、晩抽サマーヒット、イーハセブン」が高く、収量性が見込まれた。葉は「MS-1390」で厚く、葉色は「晩抽フォレスト18, MS-1390」で濃く、SPAD値も高かった。なお、主茎長(花茎長)が長く、販売不可となるような株はなかった(データ略)。以上より、収穫物では「晩抽サマースカイ、イーハセブン、サンホープセブン, MS-1390」が優れていた。

### 【残された課題・成果の活用・留意点】

栽培年によっては、生育や品質が異なることがあるので留意する。

表1 ホウレンソウの立毛調査の結果 (2025年5月16日調査)

品種名 <sup>a</sup>	種苗会社 <sup>b</sup>	収穫適期 <sup>c</sup>	播種から収穫適期までの日数 <sup>d</sup>	草姿 <sup>e</sup>	揃い <sup>f</sup>	葉の特徴		株張り <sup>i</sup>	つや <sup>j</sup>	べと病抵抗性 <sup>k</sup>
						葉色 <sup>g</sup>	切れ込み <sup>h</sup>			
タフスカイ	タ	5月5日	27	中	中	やや淡	5	中	やや有	R1~12・14・16・19
ライトアップ	武	5月5日	27	立	やや良	中	4	大	やや有	R1~13・15・20
ワイルドホープ	カ	5月6日	28	立	やや良	やや淡	3	中	やや有	R1~15・17・19
ミラージュ	サ	5月6日	28	やや開	やや良	中	4	大	中	R1~7・9・11・13・15・16・18・20
パッハ	日	5月8日	30	立	中	中	1	中	中	R1~15・17・19
晩抽サマーヒット	タ	5月9日	31	開	やや悪	やや濃	1	やや大	中	R1~11・13・15・16・18
晩抽サンホープ	カ	5月10日	32	やや開	中	中	2	やや大	少	R1~5・8・9・11・12・14・15
晩抽サマースカイ	タ	5月10日	32	開	中	中	4	やや大	少	R1~7・9・11・13・15
イーハセブン	武	5月12日	34	やや立	中	やや淡	4	やや大	やや有	R1~7・9・11・13
ディーブサマー	武	5月13日	35	やや開	中	中	1	やや大	中	R1~14・16
プリウスアルファ	ト	5月13日	35	開	中	やや濃	1	やや大	中	R1~12・14・16
サンホープセブン	カ	5月13日	35	中	中	中	4	中	少	R1~9・11~16
晩抽フォレスト18 (TSX-716)	ト	5月14日	36	中	良	濃	2	やや大	有	R1~18・20
MS-1390	武	5月15日	37	中	やや良	濃	1	中	有	R1~18・20
チェイサー	カ	5月15日	37	中	中	やや濃	1	中	やや有	R1~13・15・16

- a) 品種名は収穫適期の早い順に列記した。  
 b) 種苗会社名 タ：タキイ種苗(株)関東支店、武：(株)武蔵野種苗園、カ：カネコ種苗(株)関東支店、サ：(株)サカタのタネ、日：(株)日本農林社、ト：トキタ種苗(株)  
 c) 半数以上の株が草丈25cm(収穫目安)を超えた日を示す。  
 d) 播種(2025年4月8日)から収穫適期までの日数  
 e) 草姿：立(立性)～開(開帳性)、f) 揃い：良～悪、g) 葉色：淡～濃  
 h) 切れ込み：最大葉身の切れ込みの強弱 1：無または極弱、3：弱、5：中、7：強  
 i) 株張り：中～大、j) つや：無から有、k) べと病抵抗性：カタログデータを記載  
 注) 各項目で高評価な数値に網掛けした。

表2 ホウレンソウの収穫調査の結果 (2025年5月15日調査)

品種名	草丈		地上部重		地上部重/草丈	葉数 <sup>a</sup>	最大葉					総合評価 <sup>d</sup>
	(cm)	cv	(g)	cv			(枚)	葉長 (cm)	葉身長 (cm)	葉幅 (cm)	葉の厚さ <sup>b</sup> (mm)	
タフスカイ	48.3	5.0	81.4	12.6	1.7	10	48.6	18.0	13.4	0.4	44.5	
ライトアップ	46.8	2.6	67.7	14.0	1.4	10	46.9	16.1	12.4	0.4	53.7	○
ワイルドホープ	45.1	2.0	71.0	13.9	1.6	9	45.3	18.2	17.0	0.5	49.0	
ミラージュ	48.2	2.9	71.2	13.6	1.5	11	48.2	18.3	13.5	0.4	53.4	
パッハ	41.1	2.0	57.4	13.6	1.4	10	41.3	15.0	10.1	0.4	56.8	
晩抽サマーヒット	34.8	2.1	58.8	10.1	1.7	10	35.1	17.2	12.3	0.5	56.3	
晩抽サンホープ	35.3	3.0	53.9	8.7	1.5	13	34.6	15.8	10.7	0.5	55.9	
晩抽サマースカイ	33.1	1.4	52.5	7.4	1.6	13	33.1	14.8	10.0	0.4	53.0	○
イーハセブン	32.6	1.6	58.7	14.3	1.8	13	32.3	12.1	10.3	0.4	50.7	○
ディーブサマー	32.4	2.4	47.5	9.7	1.5	11	32.5	14.6	10.3	0.5	55.8	
プリウスアルファ	33.1	2.0	46.5	9.1	1.4	10	32.8	15.0	11.4	0.5	55.3	
サンホープセブン	33.7	1.6	52.2	7.0	1.5	12	33.8	15.5	10.4	0.4	53.2	○
晩抽フォレスト18 (TSX-716)	30.0	2.5	49.2	9.6	1.6	10	30.3	15.6	10.8	0.5	70.2	◎
MS-1390	29.4	3.3	45.3	8.3	1.5	10	29.5	15.0	10.0	0.6	69.7	◎
チェイサー	30.0	2.8	42.6	9.7	1.4	11	30.1	13.9	9.8	0.5	62.1	

- 注) 調査結果は1区18株(6穴)、2反復の平均値を示す。各項目で高評価な数値に網掛けした。  
 a) 最も長い葉の長さの1/2以上：1枚、1/3以上1/2未満：0.5枚、1/3未満を0枚として算出  
 b) マイクロメーターで測定した。  
 c) SPAD計で3回測定した平均値  
 d) 総合評価：表1および表2で網掛けした項目数の合計が3項目以上の品種は◎、2項目以上の品種は○とした。